

1号議案

2023年(令和5年)度事業報告書
2023年4月1日から2024年3月31日まで

特定非営利活動法人和気サンシュユの会

ふるさとに百年先を贈る理念で、薬木「サンシュユ」の育成管理を進め10年が経過しました。私たちのミッション「耕作放棄地にサンシュユを栽培し環境保全や景観の観光資源化を図り地域経済の活性化に寄与する」目標は、達成がいまだに見通せない状況であります。時代の変化がスピードアップしている中で、ITを駆使して様々な情報を入手し戦略を見直し行動を起こすことが求められています。

この1年、様々なことに対処してきましたが、幾つかの課題が残りました。

- ① 会員の高齢化などで管理作業の参加者が少なく活動に支障が出はじめました。
- ② 平成28年7月導入した自走式草刈り機が故障、修理に高額が発生しました。
- ③ 夏季高温多湿の天候が続き、激しい雨や台風の接近通過などで、倒木などの被害が発生しました。又、降雨のない期間も長く続き、立ち枯れを防ぐため灌水作業等行いました。
- ④ 秋のサンシュユの結実を楽しみにしていましたが、実をつけてない木が約7割で、収穫祭は残念ながら中止としました。自然相手のサンシュユ育成の難しさを痛感した年でした。
- ⑤ サンシュユ生薬生産は主として役員が行い、高木の採取は高所作業で危険のため取り残しが発生しました。
- ⑥ 中国から導入の「種取り機」用の電源(200V)配線工事を薬草園内の旧研修館に行いました。
- ⑦ 生実約100kg採取、ネックであった種取り作業は機械の導入で大幅に改善されました。生薬10kg生産、これは目標の僅か10%にとどまりました。
- ⑧ 3月花見会開催、マスクミでも報道され期間中に多くの来園者がありました。

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日	実施場所と 主な作業	従事者の人数	受益対象者の範囲 及び人数	支出額 (円)
サンシュユ育苗・栽培事業	《薬草園》 サンシュユ種 採取、保存、 播種、中耕、 施肥、灌水、 剪定、草刈、 収穫	6月3日	草刈り	8人	関心ある 不特定 多数	462,453
		8月5日	草刈り	11人		
		7月～9月	灌水作業	延べ20人		
		10月25日 ～ 11月19日	収穫・種抜き・ 乾燥	延べ35人		
		3月2日	施肥・剪定 清掃	5人 10人		
	《市倉圃場》 中耕、施肥、 灌水、剪定、 草刈作業	7月1日	草刈り	11人		
		7月～9月 随時	灌水作業	延べ20人		
		9月2日	草刈り	11人		
		10月30日 ～ 11月19日	収穫・種抜き・ 乾燥	延べ20人		
			施肥・剪定	14人		

定款の事業名	事業内容	実施日	実施場所と 主な作業	従事者の人 数	受益対象 者の範囲 及び人数	支出額 (円)
サンシュユから産 出される花、果 実、葉などを用い た製品開発・製造 及び販売事業	剪定枝活用 (花卉)・ 生薬、茶、 山茱萸酒、 クッキーなど 試作研究、市 場調査、製造 販売及び山茱 萸染製品の試 作	10月 ～ 3月 随時	ソーシャルビジネ ス創出プランに基 づく実施	延べ20人	関心ある 不特定 多数	
			生薬生産	2人		
			山茱萸クッキー ・山茱萸茶 ・蒸パン・	10人		

小計 462,453

サンシュユから産 出される花、果 実、葉などを用い た製品開発・製造 及び販売事業	サンシュユの 実・葉・樹皮 その他の植物 を使った染の 研究	随時	定國染工房	6人/回	参加者家 族及び不 特定多数	0
サンシュユの啓蒙 のための出版・講 演会などの事業	収穫祭 収穫作業	10月25日 ～ 11月19日	不作のため薬草園 での収穫祭を中止 役員が実採取・種 抜き・乾燥等作業	延べ 35人	来園者 0人	140,661
	花見会	3月5日 ～ 20日まで	花見会開催 NHKTV 放送 RSKラジオ生中継	20人	来園者 約300人	
	会報又は パンフ発行		法人事務所	5人	会員及び 不特定多 数用に	60,652
	HP 管理	随時	http://wake-sansyuyu.org/		不特定 多数	
	薬草園の収穫 祭中止及び花 見会開催を報 道各社へ連絡			理事 2人	岡山県 不特定 多数	
サンシュユ等を活 用した薬膳の普及 事業	地産の野菜・ 薬草等を使っ た料理教室	中止	藤野会館		参加者家 族及び不 特定多数	0

小計 201,313

合計 663,766

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日	実施場所と 主な作業	従事者の人 数	受益対象 者の範囲 及び人数	支出額 (円)
なし	なし					